

# シルバー千代田

編集・発行 公益社団法人千代田区シルバー人材センター

2024

No.89

令和6年8月



写真提供：写真同好会

”まだ！まだ！！  
”現役で就業しています  
ただ今八十歳！

神保町地域 山崎正樹

千代田区シルバー人材センター  
に入会して十五年。色々就業を経  
験してきました。現在は、外濠公園  
管理事務所で元気に就業していま  
す。

高齢化社会が進行している中で、  
シルバー人材センターの役割は、重  
要な存在として見直されています。  
会員同士の交流とふれあいが、老  
後の生きがい、過ごし方に役に立  
ていると思います。

また、同好会等の活動も楽しみの  
一つです。

会員の皆様それぞれ老後の生き  
がい、過ごし方を考えているかと思  
います。

私は、健康で元気にいるために  
も、シルバー人材センターの仕事を  
百才まで  
頑張っ  
ていこう  
と思う  
今日  
この  
ごろ  
です。





## 令和6年度定時会員総会

### 石田勝彦会長 挨拶

公益社団法人千代田区シルバー人材センター定時会員総会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆さま方には、日頃からセンターの運営に多大なるご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

また本日は、ご多忙の中、当センターの名誉会長にご就任頂いております、千代田区長樋口高顕様、千代田区議会議長秋谷こうき様、東京都議会議員平けいしろう様、千代田区議会文教福祉委員長西岡めぐみ様をはじめ、ご来賓の皆様方にご臨席を賜りまして、誠に有難うございます。

会員の皆様方につきまして、ようやくコロナ禍の状況が収束しつつあることを考慮いたしまして、今回の定時総会から、コロナ禍以前と同様の規模での開催といたしました。ご理解を賜りたいと存じます。

さて、足掛け4年間に亘るコ

ロナ禍という経験したことのない状況の中で、当センターは、全員の安全確保に向けて、大変厳しい運営を続けてまいりましたが、昨年の5月に、季節性インフルエンザと同等の扱いとなり、感染症を取り巻く社会状況の変化と経済活動の回復と共に、当センターにおきましても、ようやく本来の活動ができる状態に戻ってきたものと、認識いたしております。

一方で、完全に感染者がゼロになっっているわけではなく、当センターは高齢者が会員であることから、引き続き予防対策は、しっかりと行いながら、就業を継続する必要があるものと思

います。さて、当センターの昨年度の実績を振り返りますと、契約実績では、昨年大きな契約案件の終了による影響があり、対前年度比95.2%となり、残念ながら4.8%の減少となりました。

しかし、会員数の動向につき

ましては、33名の新規入会があり、退会者が29名にとどまったことで、合計で4名の増加となりました。高齢の会員を中心に、依然として、病気や加齢等を理由とする退会者が出ていることは誠に残念ではありますが、コロナ禍で会員数の減少傾向が続いていた状況から、ようやく明るい兆しが見え始めてまいりました。

また、昨年度中にお亡くなりになられた会員の方はゼロでありました。会員の皆様が健康で過ごされたことを、大変嬉しく思っております。

高齢者の雇用や就業機会が拡充されてきている社会状況の中にあつて、健康で働く意欲を持ち、地域社会に貢献しようとする意識を持った人材の受け皿として、当センターの存在価値は高いものと認識しております。今後とも、センターの周知に一層の力を入れてまいります。

また、昨年は、これまでコロナ禍で中止していた「全体会」や「地域班運営会議」等を再開し、会員の皆様の交流の場が戻ってきたことで、以前のシルバーの活気が感じられるようになってまいりました。

昨年は、「全体会の在り方」や「世話人の役割」などを改めて検証し、今後の大きな変革について、皆様からご意見をいただき、新しい方向性を打ち出すことができました。

今後とも、新たなニーズをとらえ、会員の皆様に寄り添った事業運営に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、「自主・自立」「共働・共助」というシルバー人材センターの基本理念の下で、全会員が健康に留意され、安全に就業を通じて活躍していただけることが最優先であると考えております。この時期は熱中症対策も重要となりますので、体調管理に十分留意して頂きますよう、切にお願いいたします。私のご挨拶いたします。



石田勝彦会長



## 樋口高顕区長(名誉会長)

### 挨拶

皆さん、こんにちは。千代田区長の樋口です。千代田区シルバー人材センター令和6年度の定時総会にお招きいただき、ありがとうございます。また、冒頭では、10年以上のご経験があり、かつ77歳以上の皆様が受彰されたとのことであり、心よりお慶び申し上げます。

さて、まず何より、日頃より会員の皆様におかれましては、小学校や学校施設など様々な区の施設、あるいは通学路、公園、いろいろな所で皆様のご活躍されている姿を日々拝見しております。本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

今、石田会長からもありまして、たとおり、自主・自立が理念でありますし、共に働く共に助けるといふことがいかに大切なことであるかというのは、皆さんのお姿、お顔を見ていても感じるところであります。

ただ、一方で、私も冊子を見たりしておりますが、なかなか世話人のなり手がいないという課題、あるいは会員数、昨年度は微増で何とか留まったとい

うお話がありましたけれども、ここ数年、会員数を増やすことが難しいということもあつたかと思えます。また、皆さんの中からなかなか就業先が選びにくいというご意見を伺っています。会員数を増やしながらか就業先を増やしていくというこうした課題にも、千代田区役所としてもシルバー人材センターと一緒にどうすればその取り組みを進めていけるか考えさせていただきます。と思っています。

また、昨今、本当に夏が暑くなっております。今は梅雨入りですけれども、本日も昨日も大変暑かったということ、昨年よりファン付きの作業服をお渡しさせていただいておりませんが、首に冷たいネッククーラーを巻いていただくなど、様々な対策も取りながらお使いいただければと思います。何より皆さんが熱中症で倒れてしまつては一番いけませんので、作業環境、仕事環境の改善のご提案、アイデアやご意見をいただければと思っております。

す。そうした対応もぜひともさせていたただきたいと思っております。

結びとなりますが、石田会長のもと、千代田区シルバー人材センターがますます発展され、会員の輪が、そして地域の輪が広がっていかれることを心より祈念しております。

## 秋谷こうき区議会議長

### 挨拶

皆様、こんにちは。千代田区議会議長の秋谷こうきでございます。今日は定時総会にお招きいただきまして、ありがとうございます。そして何よりも表彰された方々に心よりお慶びを申し上げます。

私は体育館や小学校に行つたときに、皆様が働いていらっしゃるお姿を拝見して、本当に助けられているなあと感じる日々でございます。そして何よりも今、人材が少ない中で、皆様のお力がこれから重要になってくると思っております。

今後ともどうか区のため、そして区民のために、よろし

おめでとうございます。



樋口高顕区長(名誉会長)

くお願い申し上げます。本日は文教福祉委員会の西岡委員長もいらしていますけれども、千代田区議会といたしましても、しっかりと皆様のご活躍できる制度やシステムを構築してまいりますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございます。



秋谷こうき区議会議長



## 平けいしょう都議会議員 挨拶

皆様、こんにちは。東京都議会議員の平けいしょうです。本日は千代田区シルバー人材センターの定時総会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

只今、東京都知事選挙が行われているところでございます。前回2020年の都知事選は候補者22名と過去最大でしたが、今回2024年の都知事選は56名と、これもまた過去最大となりました。

話が逸れましたが、都は東京都シルバー人材センター連合として都知事の指定を受け、都内58か所のシルバー人材センターとともに、シルバー人材センター事業の拡充に向けた事業を実施しています。各自治体にある人材センターを援助する立場にもございます。昭和から平成にかけて、激動の時代を駆け抜け、経験豊富で知見の高いシルバーの皆さんが社会で活躍して下さることは、東京都にとって大きな活力になると確信いたしております。皆さんが元気に健やかに、この人材センターを通じて社会で活躍して下さることをこれからも期待するところで

ございます。

皆さんはお元気でご活躍くださる一方で、皆さんと同世代で介護が必要な方も多くいらっしゃると思います。介護人材の不足、また介護離職者が増えているなかで、都は介護の担い手に対して、居住支援特別手当など、これまでもより予算を拡充した支援を行ってまいります。シルバー人材で活躍して下さる皆さんも、そうでないシルバーの皆さんも安心して生活できる東京都を築いていくということは、政治を担う我々の使命だと思っておりますので、これからもしっかりと努めていきます。

石田会長をはじめといたしまして、千代田区シルバー人材センターのますますのご発展、ご参会の皆様方のご健康を心よりご祈念申し上げます。私のご挨拶いたします。ありがとうございます。



平けいしょう都議会議員

## ご来賓の皆様

(前列左より)

樋口区長(名誉会長)、  
秋谷議長、平都議、  
西岡文教福祉委員長

(後列左より)

清水(区)保健福祉部長、  
窪田(区)福祉総務課長



ご来賓の皆様



## 【 会員表彰 】

センターの会員として通算10年以上登録し、毎年3月31日現在77歳以上で、センターの発展に寄与し、その業績が顕著な会員を、毎年の定時会員総会で表彰するものです。  
本年度は、次の17名の皆さまが表彰されました。おめでとうございます。

### 会員表彰

(敬称略・五十音順)

阿部 節子  
石橋 憲子  
岩井 諒夫  
大澤 輝夫  
加藤木 隆昭  
北村 寿子  
窪田 憲子  
小島 英子  
坂井 あき子  
迫 芳子  
平 隆司  
高瀬 文子  
竹本 五郎  
橋本 清子  
諸井 美代子  
梁川 幸子  
横山 祐子



総会に参加された表彰者の皆様



令和6年度定時会員総会の様子



令和6年度定時会員総会の様子



## 【定時会員総会議事内容要約】

定時会員総会の議事内容をご報告いたします。  
太田理事の司会、



司会(太田理事)

石田会長が開会の辞の後、議長に選出され、



議長(石田会長)

宮川監事から監査報告があり、



監査報告(宮川監事)

窪田副会長から事業報告の後、議案審議に入りました。



事業報告(窪田副会長)

石田議長の議事進行により、先ず正特会員登録数331名のうち出席会員数43名及び委任状提出者221名で、議決権総数264個となり、議案を審議するために必要な定足数を満たし、定時会員総会が成立したことの報告を受けて、  
・第1号議案「令和5年度計算書類等の承認の件」について、谷田部事務局長が、議案書に基づき説明しました。



第1号議案の説明(谷田部事務局長)

続いて

・第2号議案「理事1名選任の件」について、松井理事が議案書に基づき説明しました。



第2号議案の説明(松井理事)

★各報告事項、議案に対する質疑を受けたところ次のような質問がありました。

### 【質疑応答(要旨)】

#### 質問1

何故、売りが上が増えないのか。

#### 回答1

原因は、ここ数年間で受注案件が減少したためです。具体的には、千代田区九段まちかど広場の廃止など、発注者側の事情による契約終了がありました。

新規依頼案件もありますが、ホームページや事務局前の掲示板を通じて会員の皆様にお知らせしても、新規依頼案件の多くは清掃業務等で、会員の皆様が希望する仕事とマッチせず、対応できる会員がいないため、センターへの仕事の依頼はあるのに、契約に至らないというのが実情です。

#### 質問2

何故、会員数が増えないのか。

#### 回答2

厚生年金の支給開始年齢の段階的な引き上げに伴い、企業の定年延長や再雇用制度が広がった影響もあり、会員数が減少しているものです。こうした社会環境の変化により、新規会員の流入数は、千代田区のみならず、全国のシルバー人材センターでも減少している状況にあります。

また、意欲を持って会員となっても、自分の能力や経験に適した仕事がない、と感じる方も少なくないようです。設立当初のシルバー人材センターは、生きがい重視で、年金収入を補完する程度の位置づけでしたが、近年入会してくる会員の中には、本格的に収入を得たいと考えている方もあり、そうした方にとっては、センターの就業内容では物足りない側面もあるのだと思います。

#### 質問3

契約金額および会員数を今後どのように増やしていくのか。今後の方針は？



### 回答3

就業開拓と新規会員の獲得については、専門委員会である事業・広報委員会が中心となって取り組んでおります。

議案書の18頁に記載しておりますが、75歳以上の会員が前年度より10ポイント増え約60%となり、会員の高齢化が進んでいきます。現在85%を超える千代田区からの受注案件でも、従事者確保が危ぶまれているのが現状です。

こうした状況から、センター運営にあたっては、契約金額と会員数がバランスよく増加していくことが望ましいですが、現時点では、先ずは新規会員の確保が優先と考えています。

今年度は、従来から参加している地域イベントでの会員勧誘活動に加え、区民へのPR効果が高い「広報千代田」への会員募集記事の拡大掲載、敬老会でのチラシ配布など、積極的なPR活動に引き続き取り組んでいくと共に、新たな方策についても検討してまいります。

### 質問4

事業実施報告書(中期計画期間の実施報告資料)の目標数値は

令和6年度末の間違いではないか。また、目標設定があまりにも現状とかけ離れていないか。

### 回答4

記載の目標数値は、令和7年度末の目標数値で間違いありません。記載の目標値は、令和2年度から令和7年度の5か年の最終目標値として設定したものであります。この間、社会情勢の変化もあり、目標達成は非常に厳しいと言わざるを得ません。次の中期計画改定の際には、改めて目標数値を検討していく必要があると考えています。

### 質問5

退会理由が「病気・加齢」に次いで「その他」が多い。「その他」は具体的にどの様な理由か。また「なぜ辞めてしまうのか」の観点から分析し、魅力あるセンターにしていく必要があるのでは。

### 回答5

退会理由「その他」について、全員ではありませんが「本人が望んでいたイメージと違った」等が挙げられます。退会理由の分析については貴重な意見として受け止めさせていただきます。

### 議案審議の結果

以上の質疑を経て、第1号議案から第2号議案は出席者数及び事前に提出のあった委任状を含め過半数の賛成を得て、原案どおり可決されました。

最後に、熊倉理事の閉会の辞をもって、令和6年度定時会員総会は無事終了しました。



閉会の辞(熊倉理事)

### 「理事就任のご挨拶」

清水章

本年4月に千代田区保健福祉部長に就任し、この度、理事に選任されました清水でございます。

シルバー人材センターとは、「高年齢者が、主に雇用関係ではない、臨時的かつ短期的又は軽易な業務に従事することを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織」、「自主、自立、共働、共助の理念に基づ

き、会員の総意と主体的な参画により運営する組織」とのこと。

かつて社会人として企業等へお勤めになられていた時には、営業成績を上げるためライバル社とはもとより、社内でも競い合い、自分が前に出ることに必死にならざるを得なかった方もいらっしゃるかも知れません。

しかしながら、シルバー人材センターはそうではないと。「生きがい」を感じながら、これまで培ってきた経験と能力を「地域社会の活性化」のために活かし、仲間同士、皆で一緒に組織を運営していく。まさに様々なご苦勞を経験されてきた皆様だからこそ到達できる場所なのだ。このように感じているところでございます。

どうか、日々の活動を通じ、この千代田区をより良いまち、支え合いのまちにするため、皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





## 【表彰者からの一言】

### 鍛冶橋ガード下

鍛冶橋ガード下清掃。私のシルバーでのスタートです。現在も現役なので、仕事は早朝のみに限られて、ほとんどが清掃の仕事でした。

東京駅ー大手町・丸の内界隈を結構使っているし、行っているけれどもほとんどが昼間か夜間の照明の下。

星がまたたいている未だ真っ暗な夜明け前が仕事開始。仕事が終わりを迎える頃、夜が白み、陽が顔を出し始める。

昔なら摩天楼、今ならタワービルが顔を出し始めた。陽光に窓ガラスが反射して、薄明りの雲と空とのコントラストが、これは夜明けから早朝にそこに居た者しかわかってもらえない。

あれから10年ですか。

72才の若手？だった私も今年82才になり、やっとベテラ

### 加藤木隆昭

ンの域に達してきたのかも。足腰が動くうちではなく、足腰が何才いくつになって歩けるよう、出来る限り今の仕事を続けられたらと思っ



### 表彰にあたって

2024年6月25日、会員の表彰式が執り行われ、私を含め、17名の皆様が表彰されました。石田会長をはじめとし、ご来賓の皆様よりご祝辞頂戴しました。これから先も健康に十分留意し、我が人生楽しみながら前進して参りたいと思いました。

私がシルバー人材センターへ会員登録をしたのは、平成24年の4月でした。最初は保健所の就業、同年10月末には東京ステーションギャラリー（※現在はセンターとの契約は終了）が就業先となりました。入会してから数十年にわたり、仕事ができる事に感謝しております。

特に東京ステーションギャラリーの仕事は思い入れ深く、展示替えの度に実物の絵画との出合いがあり、その都度に感動を覚えました。認知度も向上し、期間中に多くのお客様が来館してくださることは、嬉しく思う時でもあり

### 横山 祐子

ますし、身が引き締まる思いでもありました。

このような素晴らしい職場で就業させていただけることに感謝を申し上げます。

最後になりますが、本日はお暑い中、会場の設営・写真撮影等大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。







## 【会員の広場】

### 今 バラ色の人生

今年で80才、今は第3のバラ色の日々を過ごしています。

生まれは群馬伊香保温泉、気がついた時には父はいませんでしたが。家は貧しく、母は美容院を営みながら、お客様がいない時は芸者さんの着物を縫い、夜はお寿司屋さんで仕事。父の連れ子2人、姉私弟5人の子供と、母の寝ている姿はあまり見た事はありませんでした。

私も小中学生の頃は、山に杉葉を拾い集め(炊飯器などない時代)、土曜日は旅館の配膳下げ、日曜日はユカタの洗濯。旅館から頂いたお金は全部姉に渡していました。

社会に出て理容師の道へ。先輩にいじわるもいっぱいされましたが、「なにくそ」の気持ちで国家試験に1次、2次一発合格。

主人とは九段下で知り合い、4年間の遠距離交際を経て結婚。義父母が工場をしていたので：主人の兄弟、住み込み7人通い6人の朝、昼、夜、夜食と1

### 神保町地域 栗原七生

日4回の食事、仕事、子育てと30年。55才で主人は亡くなりまして。一番辛かったのは、病院から主人が亡くなって帰ってきた時、義父が主人に泣きくずれた姿は一生忘れません。

その2年後、義父は94才で病院のベッドで私の手を握り「ありがとう」の言葉を：穏やかに天国に旅立ちました。

今迄、6回も喪主を：「なんで」と思ったけれど、これも自分の運命。

色々あった人生、今は同じ世代、ダンス仲間、町会の人達との交流、今人生最高の花を咲かせています。

この年になっても仕事が出来る：幸福な事。感謝です。シルバーの皆様ありがとうございます。



### 生徒さん達の笑顔

麴町小学校の受付業務をさせて頂いてから2年目に入っております。

毎日7時55分に正門が開けられ、先生の誘導で生徒さん達が「おはようございます」と登校してきます。

校庭では校長先生をはじめ担当の先生、担当の生徒さん達が「おはようございます」と出迎えます。

### 麴町地域 小山佳子

8時10分に正門が閉められるのですが、朝の登校の活気あるひと時です。

受付業務は主に北門のインターホン対応のお仕事ですが、先生や生徒さん達の笑顔に元気づけられ、励まされている毎日です。

給食を戴けるのも楽しみの1つで、給食を作って下さる方々に感謝しつつ戴いております。



令和6年11月1日に施行される

「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス法)」  
により、会員の皆様・発注者・センター間で交わす契約の方法が変わります。

現行は、**発注者⇄センター、センター⇄会員の2段階の契約**  
で、センターは発注者と会員の間で仕事の履行や会員の保護  
等に責任を負う役割を担っていますが、フリーランス法施行  
後は、**発注者と会員は直接契約**の関係になります。



ただし、センターが発注者から仕事の依頼を受け、業務内容や配分金額等を発注者と合意した上で会員を選定することで、その選定した会員と発注者に契約関係が成立することになり、センターが安全教育の実施やシルバー総合保険等により就業環境を整え、配分金もセンターが発注者に代理請求・代理受領して会員の皆様にお支払いする、という流れとなるので、**会員の皆様にとって、現状と比べて大きく変わることはありません。**

フリーランス法の施行に伴い、新たに対応が必要となるのは、

**センターが会員の皆様に就業条件等を書面または電磁的方法により事前に明示する**

という点です。書面+郵送で事前明示を行うのは事務負担が大きく、秋には郵便料金も値上げされるため、センターでは全会員がマイページ上でご自分の就業に関する記録を閲覧できる**会員専用サイト**を構築し、そのサイトを通して事前明示する方向で準備を進めています。



令和7年度から  
「センターの契約方法」が変わります

現行の契約方法



変更後の契約方法

発注者⇄センター間で、センターの役割(全体統括、マッチング、代理徴収など)を定める利用契約を締結



会員は就業の際、就業規約及び発注者とセンターで作成した業務仕様書(仕事の内容や条件などを定めたもの)に同意して就業



## 会員専用サイト Smile to Smile を開設します。

会員専用サイトとは、会員の皆様とセンターをインターネットでつなぐシステムです。ご自分のスマートフォンやパソコンからこのサイトにアクセスすることで、就業等に関する様々な情報を確認することができるようになります。このデジタル化の取り組みは、紙資源の削減にもつながるものです。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



### 会員専用サイト Smile to Smile (スマイルトゥスマイル) でできること



#### 新規受注案件等への申し込みができます

新規で受注したお仕事や欠員現場の情報を確認し、就業希望の申し込みができます。  
\*センターホームページへの掲載、事務局前ホワイトボードへの掲示も継続して行います。



#### センターからのお知らせが受け取れます

「毎月のお知らせ」などの情報を閲覧したり、研修会等のお知らせをセンターからのメールで受け取ることができます。  
\*紙での郵送も継続して行います。



#### 就業条件等が確認できるようになります(令和7年度の就業から)

前ページに掲載の契約方法の見直しに伴って必要となる、仕事の内容や配分金額等の就業条件を事前に明示するための手段として活用します。  
\*必要な方には、紙での明示や事務局窓口でタブレットを用いて確認していただく形も併用します。

### 会員専用サイト Smile to Smile (スマイルトゥスマイル) の利用手続き



#### 1 通知書

(この「シルバー千代田」に同封したもの)

センターから全会員宛てに通知書をお送りします。通知書には、Smile to Smile(スマイルトゥスマイル)にアクセスできる「QRコード」と「ログインID」、「パスワード」が記載されています。



#### 2 サイトを開く

通知書のQRコードをスマートフォン等で読み取り、サイトの画面を開きます。



#### 3 入力

開いた画面で、通知書に記載の「ログインID」と「パスワード」を入力します。



#### 4 規約に同意

利用規約を確認する画面で、内容を一読し、「同意」します。



#### 5 生年月日

次の画面で、生年月日を入力します。



#### 6 お知らせの設定

次の画面で、今後お知らせを受け取るための「メールアドレス」とご自分で設定する「新たなパスワード」を入力します。  
※メールアドレスは後で登録することも可能です。



#### 7 登録の完了

登録完了のためのメールが届いたら、メールに記載されたURLをタップし、開いた画面で、先ほど設定した「新たなパスワード」を入力すれば、登録完了です。

## 会員専用サイト Smile to Smile (スマイルトゥスマイル) の初回ログイン手順



1 ログインIDとパスワードを入力して[ログイン]をタップ。

2 [利用規約を確認する]をタップ。

3 利用規約を一読して[利用規約を閉じる]をタップ。

4 [同意して次に進む]をタップ。



5 生年月日を入力して[次へ進む]をタップ。

6 メールアドレス、新たなパスワードを入力して[次へ進む]をタップ。

7 内容を確認して[次へ進む]をタップ、登録完了画面が表示される。

8 登録完了のためメールの本文のリンクをタップ、⑥で設定した新たなパスワードを入力してログイン完了。

※タップとはボタンを押すことです。

### 登録手続きをする際の注意事項

- 「Smile to Smile(スマイルトゥスマイル)」の利用は無料ですが、インターネット接続料金は個人負担となります。
- 登録完了のためのメールは「no-reply@s22s.jp」というアドレスから届きます。知らないアドレスからのメールを受信しないような設定等をしている場合は、「no-reply@s22s.jp」からのメールを受信できるように設定を変更してから登録手続きを始めてください。
- メールアドレスを後で登録する場合は、上記手順⑥で「メールアドレスの登録をスキップする」を選び(☑)を入れ、新たなパスワードを入力して[次へ進む]をタップしてください。
- 「一人で登録手続きをするのは不安…」、「手順に沿って試してみたが、出来なかった…」という方は、次ページに記載の令和6年度第2回全体会や、毎月のボランティア清掃後に開催しているデジタルサポート個別相談会で、事務局職員と一緒に登録することができます。

\*日程は次ページ

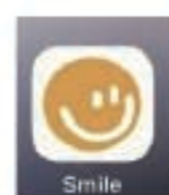
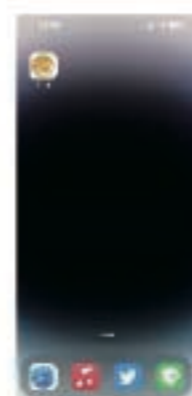
### マニュアル動画はこちら(約10分)

動画URL:

<https://nsis.ageless80.jp/public/seminar/view/2840>



### ホーム画面にアイコンを作ると便利です



お使いのスマートフォンで、「ホーム画面に追加」として次回以降のログインが便利になります。

## デジタルサポート個別相談会

「Smile to Smile(スマイルトウスマイル)」の登録手続きができるように個別支援します。通常のスマートフォンやタブレットの操作等に関する相談も受け付けます。

### 日時

毎月第1木曜日\*ボランティア清掃後  
奇数月:11時~(11月は6日(水)10時~)  
偶数月:14時~  
※1人上限30分間

### 会場

かがやきプラザ4階 シルバー会議室

### 対象

会員のみ(各日3名まで、申込順)

### 申込

事務局へ希望日時と教えてほしいことを伝えて予約してください。

※事務局職員では対応できない相談内容の場合は、  
区の「スマホサポート・コールセンター  
☎0120-313-089(平日10時~17時)」をご案内します。

## 令和6年度第2回全体会

「Smile to Smile(スマイルトウスマイル)」の登録方法や初期設定・操作の仕方、機能等について説明します。

### 日時

令和6年9月19日(木) 管理群 :9時~  
学校群 :10時半~  
軽作業群:13時~

### 会場

かがやきプラザ4階 会議室1・2

※この「シルバー千代田」に同封した、ログインID・パスワードが記載された「通知書」と、ご自分の「スマートフォン」をお持ちください。

※内容は各群共通です。リーダー以外の方は、自身の就業先の群に縛られず、どの群(時間)に参加しても構いません。



## 令和6年度ゆかた教室 開催報告

令和6年7月8日(月)、11日(木)の2日間、区民の方を対象に、ゆかた教室を開催しました。

8日(月)は3名、11日(木)は4名の方にご参加いただき、2時間で、ゆかたの着方から帯の結び方までを習いました。

参加者からは、「普段、ゆかたを着る機会が無く、ネットに上がっている動画を見て自分なりに着てはみたけど、細かい部分までは映っていないので、こういった教室で細かいところまで学べて良かった」といったご意見をいただきました。他にも「楽しかった」といったご意見もあり、充実した教室となりました。

また、参加者へのアンケートでは、



Q 今後ゆかた教室及び着物着付け教室があった場合は、参加したいと思えますか？

1. 参加したい(6票)
2. どちらでも良い(0票)
3. 考えていない(1票)

と、継続参加を希望する声をいただきました。

普段の生活の中で、ゆかたを着る機会が、減多にないかと思えます。これからもこうした自主事業によるゆかた教室や着物の着付け教室を開催し、少しでも多くの皆様にゆかたや着物を着る機会を増やし、また、会員の技術を皆様に広げていくことができればと思います。





# 令和6年度夏季安全就業巡回調査の実施について

昨年度より、主に熱中症への注意喚起を目的として、7～8月の夏季期間で事務局職員（安全対策推進員）による現場巡回（4箇所程度）を順次実施しています。主な巡回内容としては、現場状況の確認及び熱中症対策指導、塩飴の配付などです。

近年は猛暑日が増加し、熱中症になる危険性が増しています。高齢者の方は熱中症になりやすく、重症化しやすいとも言われています。屋外、屋内を問わず熱中症になる危険性がありますので、きちんとした対策を行い、熱中症予防に努めてください。

## 屋内清掃現場

### 巡回日

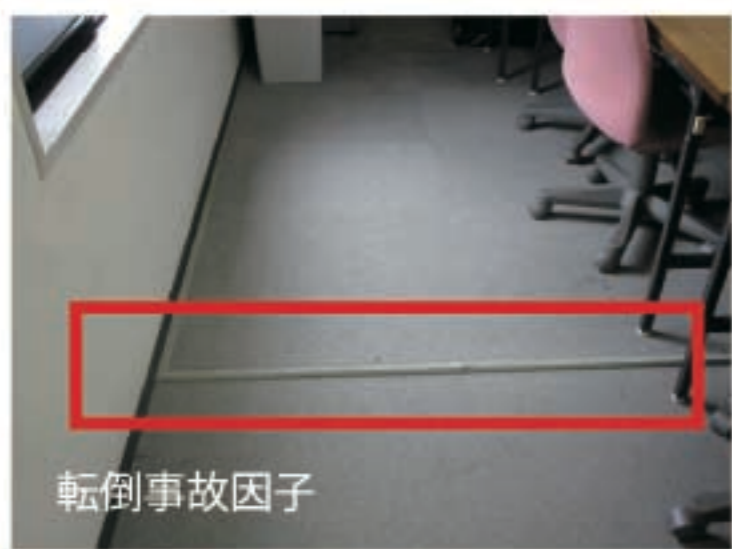
令和6年7月12日（金）

### 巡回先

音楽電子事業協会  
事務所内清掃業務

### 現場状況

作業場所は冷房が入っていないため夏場は暑く、窓や扉を開けることで風通しを良くして就業をしている。また、就業現場内には段差や配線カバー等、転倒事故につながるりかねない因子もあったため、熱中症に限らず、日々の注意が必要になると考える。



転倒事故因子



冷感タオル等のグッズ活用を！

### 熱中症対策

現場の風通しを良くするほか、こまめな水分補給を心がけている様子が見られた。なお、巡回者より、塩飴の配付に加えて冷感タオルの効果的な使い方について指導をしたほか、本就業現場でのファン付き作業服の使用を推奨した。

## 屋外清掃現場

### 巡回日

令和6年7月26日（金）

### 巡回先

公園清掃第9グループ

### 現場状況

屋外公園清掃という点から、夏場は大変暑い。また、最近ではスズメバチの巣が作られるなど、虫も多く発生する現場である。

※巣は現在除去されているが、一部の木の付近にまだハチが発生しており、誘引剤が設置されていた。

虫刺され防止のため、長袖を着用しながら就業している。暑さに関して大変厳しい環境の現場となっており、熱中症には特に注意が必要である。



ハチ刺されに注意（現在誘引剤が設置されている）



ネッククーラーによる熱中症対策

### 熱中症対策

飲み物を持ちながら就業し、いつでも水分を補給できる状態にしていたり、定期的に休憩時間をとるようにしているなど、メンバー内の熱中症に対する対策意識が高いように感じた。なお、巡回者より、塩飴を配付し、本就業現場でのファン付き作業服の使用を推奨した。



# 令和5年度事業実績概要

(集計期間:令和5年4月~令和6年3月)

## 1. 公共・民間別就業契約状況

※受託件数は1契約につき複数回カウントしている。

区分	受託件数	就業人員		契約総金額 (単位:円)	率 (%)	内訳(単位:円)		
		実人員	延日人員			配分金	事務費	材料費
公共	700		25,079	141,253,681	85.8	128,244,334	12,504,281	505,066
民間	企業等	383	5,216	22,071,338	13.4	20,107,766	1,952,822	10,750
	家庭	97	307	1,209,816	0.7	1,088,499	108,002	13,315
	自主	8	27	99,317	0.1	81,010	7,807	10,500
<b>R5年度計A</b>	<b>1,188</b>	<b>303</b>	<b>30,629</b>	<b>164,634,152</b>	<b>100</b>	<b>149,521,609</b>	<b>14,572,912</b>	<b>539,631</b>
R4年度B	1,255	319	32,788	173,017,845		159,561,445	13,160,174	296,226
比較(A-B)	△67	△16	△2,159	△8,383,693		△10,039,836	1,412,738	243,405
増加率(%)	△5.3	△5.0	△6.6	△4.8		△6.3	10.7	82.2

※令和5年度の就業率は92.1%(実人数/会員数)でした。

## 2. 会員登録状況

(単位:人)

区分	令和6年 3月31日 現在	令和5年 3月31日 現在	令和5年4月1日~令和6年3月31日の合計						
			入会数	退会数	退会理由				
					病気・加齢	就職	転出	家庭の事情	その他
男性	125	116	16	7	3	0	1	0	3
女性	204	209	17	22	12	1	1	1	7
合計	329	325	33	29	15	1	2	1	10

※退会理由のその他は、「希望する仕事がない」、「会費未納」等

### 会員からの寄稿をお待ちしております。

機関誌「シルバー千代田」の**写真や記事を年間通じて募集しています**。発行時期に相応しい作品をお待ちしております。季節の話題や写真(カラー・白黒、区内外を問わず)等をお寄せください。

